

平成27年12月25日

愛媛大学

平成27年度「愛媛大学COC公開講座 in 愛南町」 「地域を活かす！ ～創造する未来をいきいきと～」を開催

愛媛大学では、このたび、平成27年度「愛媛大学COC公開講座 in 愛南町」を下記のとおり開催します。

このイベントは、地（知）の拠点整備事業（COC事業）として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで、地域の方全てを対象に開催します。

今回は、「他地域の事例から学ぶ、活性化の方策（事例紹介）」をテーマに、愛媛大学社会連携推進機構の前田 眞教授が講演するとともに、財団法人正光会 御荘病院 院長 長野 敏宏氏が、「愛南町における40年に及ぶ障害者福祉活動から、『愛南町の』IターンUターンを考える」と題した講演を行います。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成28年1月17日（日）14時00分～16時30分（受付13時30分～）

場 所：御荘文化センター 2F 大研修室（南宇和郡愛南町御荘平城3063番地1）

対 象：一般の方、学生

定 員：100人（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：無料

参加申込方法：別添開催案内の申込み用紙に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にて記載のCOC事務局宛に、1月12日（火）迄に送付願います

駐車場：有（台数に限り有り）

本件に関する問い合わせ先

担当部署：愛媛大学COC企画運営部事務局

担当者名：重松

TEL：089-927-8964

Mail：coc@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚（本紙を含む）

平成27年度 愛媛大学COC公開講座 in 愛南町

2016.1.17(日)開催!! 14:00 ~ 16:40



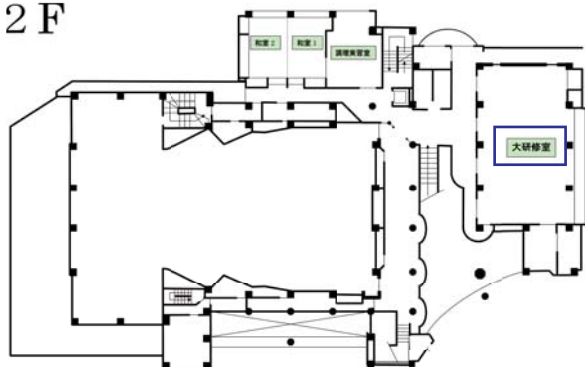
テーマ：「地域を活かす! ~創造する未来をいきいきと~」

地方に起こっている大きな問題として、人口減少、少子高齢化、地域活力の衰退などがあげられます。愛南町も例外ではありません。人口は合併当時から年々減少傾向にあり、高齢化率も増加しています。

そうした中で、地域やそこに暮らす人々が、来るべく未来を考え、創造し、いきいきとした生活を送るためにはいったい何をすれば良いのか、地域づくりや自己啓発について考えるための公開講座を開催します。

- 講演 1 (14:20 ~ 15:20) テーマ：「他地域の事例から学ぶ、活性化の方策(事例紹介)」
講師：愛媛大学社会連携推進機構 教授 前田 真
- 講演 2 (15:30 ~ 16:30) テーマ：「愛南町における40年に及ぶ障害者福祉活動から、『愛南町の』
IターンUターンを考える」
講師：財団法人正光会 御荘病院 院長 長野 敏宏 氏

2F



【参加費無料】

主催：愛媛大学 共催：愛南町

問合せ・申込み先

◆ 要事前申込み(定員100名、先着順)

※1月12日(火)迄にお申し込みください。

※プログラム詳細はチラシ裏面をご覧ください。

【会場】：御荘文化センター 2F 大研修室
(南宇和郡愛南町御荘平城 3063 番地 1)

愛媛大学COC企画運営部事務局 (担当：重松)
〒790-8577 松山市文京町3番 (愛媛大学社会連携推進機構内)
TEL 089-927-8964 FAX 089-927-8820
E-mail coc@stu.ehime-u.ac.jp



平成 27 年度 愛媛大学 COC 公開講座 in 愛南町

◆◆◆◇◇◆◆◆ プログラム詳細 ◆◆◆◇◇◆◆◆

- 13:30 ~ 受付開始
- 14:00 ~ 14:10 主催者挨拶 愛媛大学理事・副学長 仁科 弘重
- 14:10 ~ 14:20 開催地代表挨拶 愛南町長 清水 雅文 氏
- 14:20 ~ 15:20 講演 1 愛媛大学社会連携推進機構 教授 前田 眞



テーマ：「他地域の事例から学ぶ、活性化の方策（事例紹介）」

愛南町に定住・移住（UJIターン）や交流人口増加と活性化を促進させるには何が必要なのか、愛媛県内外の取組事例を紹介します。さらに、地域の魅力づくりや情報発信の方法について学び、地域活性化に結びつけるための方策を一緒に勉強します。

- 15:20 ~ 15:30 休憩
- 15:30 ~ 16:30 講演 2 財団法人正光会 御荘病院 院長 長野 敏宏 氏



テーマ：「愛南町における40年に及ぶ障害者福祉活動から、『愛南町の』IターンUターンを考える」

南宇和郡（合併前は五か町村）では、昭和49年に全国に先駆けた精神障害者の社会復帰施設「平山寮」が開設されて以来、地域住民による福祉活動が活発に展開され続けてきました。ずっと関わり続けている人、代替わりをしながら理念を引き継いでいる人、地域内外で次々に広がる仲間、多様な立場の方が参画しています。

当初、「精神障害者を支える」活動でスタートしましたが、町の状況は刻々と変化し、現在は「すべての人が担い手となって、町を活かす」活動へ展開してきています。その活動は医療、福祉に限らず、体育文化、観光業、農業、水産業などに発展してきました。その取り組みが注目され、多いときは年間500名を超える視察や全国の大学などの研修受け入れもあります。また、各地から働きにきて（いわゆるIターン？）定着をしている人も着々と増えています。

交流人口の増、人口減を歯止めをかけることは極めて重要なことです。ただ、急速に人口が減少する愛南町とはいえ、まだ2.2万人もの人が生活をしています。産業も多彩で豊かな土地です。今の段階で取り組むべきことは、地方創生などで一般的に流れている情報を鵜呑みにしたのでは、到底、目的は実現できないと実践の中から感じています。

愛南町に20年住み、多くの仲間とともに、苦労を重ねてきた様子を話題提供させていただきます、皆さんとディスカッションできればと考えています。

◆本イベントは、地（知）の拠点整備事業（COC事業）として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで、地域の方全てを対象に開催します。

参加申込み

【定員 100名】 愛媛大学 COC 企画運営部事務局（社会連携推進機構内）
【先着順】 Mail: coc@stu.ehime-u.ac.jp Fax: 089-927-8820

● 下記を明記の上、1月12日（火）迄にお申し込みください。なお、承諾のご連絡はいたしません。定員に達した場合、お断りのご連絡を差し上げます。

お名前		
	※ 複数人でお申し込みの際は、全員分のお名前をご記入ください。	
ご所属、役職名		
連絡先	Tel:	Mail:
	※ 出来るだけ当日ご連絡のつく電話番号をご記入ください。	